

# 大阪南ロータリークラブ会報

第 773 号

2022 年 7 月



事務局 〒536-0011 大阪市浪速区難波中 1-12-5  
難波室町ビル 8 階  
例会日 毎週火曜日 午後 0 時 30 分  
例会場 スイスホテル 南海 大阪 8 階  
会長 澤村 剛士 幹事 栗原 大

本年度活動方針

## 『 奉仕がつなぐ未来 』

会長 澤村 剛士

本年度、我が大阪南ロータリークラブは創立 70 周年を迎えます。1952 年（昭和 27 年）に、大阪ロータリークラブをスポンサーとして大阪北ロータリークラブとともに発足いたしました。第 1 回例会の出席者は、会員 20 名、ビジター 5 名の合計 25 名でのスタートでしたが、現在では正会員 167 名、衛星クラブ会員 9 名の計 176 名の会員を有し、5 名の地区ガバナーを送り出すまでに成長してまいりました。

この 70 年の道のりには、多くの山や谷があったと聞き及んでいます。厳しい状況でも未来を切り開こうと会員が力を合わせて前進したおかげで、今があることを強く感じています。ロータリーとは、「超我の奉仕」と「最も奉仕する者、最も多く報いられる」との行動の理念に共感した倫理観の高い職業人の集まりです。草創期のロータリークラブは、親睦から始まり奉仕活動に進化しました。自ら進んで行う奉仕は、日常とは異なる感動を生み、喜びと誇りを胸に、良きインフルエンサーとして好循環の連鎖を生み出します。こうしてロータリーの樹は成長し、多くの奉仕の実を結び、未来が開けていくのだと思います。

コロナ禍において、国や地域での人々の移動は制限され、経済に大きな影響をおよぼしました。また、人々の交流が難しくなり、分断が孤独を生み不安をあおりました。世の中は、人と人のつながりが基盤だということを困難の中から知ることとなりました。

このような時にこそ人間の真価が問われるのであり、思いやりの心をもって他人のために尽くし行動する、ロータリーの活動が大切なのではないのでしょうか。分断された社会より、つながる幸せを選びとろうではありませんか。

# 第5回クラブフォーラム

職業奉仕部門

日 時：2022年5月17日（火）

午後17時30分登録、午後17時50分開会

場 所：ホテルモントレグラスミア大阪

23階「ウイングミアホール」

浪速区湊町1-2-3 ☎6645-7111

討議部門：職業奉仕部門

形 式：バズセッション



## 議 題：

- ① ロータリーアンの職業奉仕とはなんだと思いますか。
- ② 職業奉仕をどのように展開されていますか。
- ③ 職業奉仕理念を新ビジネスに発展させる案はありますか。

出席者（敬称略 順不同） 51名

### ◎テーブルマスター

Aテーブル 天野、小谷、小八木、福本

Bテーブル ◎濱口、伊藤勝、澤村、鈴木

Cテーブル ◎鮫島、藤井、長谷川孝、中島

Dテーブル ◎小椋、城戸、中村剛、下井

Eテーブル ◎能川、小林二、松林、上村

Fテーブル ◎伊倉、川田、木村、米田秀

Gテーブル ◎飯井、青山、森、山田

Hテーブル ◎大石、後藤、熊田、横尾

Iテーブル ◎新居、原田、菰田、山本和

Jテーブル ◎由谷、樋口喜、三原、錦織、

横山慶

Kテーブル ◎江頭、小畑、庄司、清水、山岡

Lテーブル ◎岩崎、川谷、入江、栗原、

八ッ橋

## 1、開会挨拶：天野会長

お疲れ様でございます。私が会長になった時、第一は職業奉仕とお話させていただき、やっと職業奉仕のフォーラムを開催することになりました。皆様にアンケートを書いていたできまして、100人以上の書類が集まりました。ロータリーではどうしてもお金儲けと奉仕がなかなか結び付かない期間がありました。世界の中ではロータリーを利用して商売をすることの戒めとしてあまり職業の事に深入りしない事に私は少し不満でした。ロータリーが職業に対してもっと高潔なものである事を、やっと時代がこのような考えに追い付いてきたと感じています。このような時代の中で活発な討論をよろしくお願いいたします。

## 2、テーブルマスター指名：伊藤勝幹事





### 3、ゼネラルリーダー議題説明：福本理事 (職業奉仕)

本日担当させていただきます。たくさんの皆様にご参加いただきましてありがとうございます。天野会長からは今年度、職業奉仕活動の拡大をしてほしいと依頼がありました。またロータリーとしても職業の話も少ないので、このアンケートを取らせていただくことにより会員皆様に会員間の情報を共有してもらい、フォーラムや職業奉仕の活動に役立ててもらおう為アンケートの資料を用意させていただきました。皆様の活発なご意見お待ちしております。



### 4、キーノートスピーチ：職業奉仕委員会 アドバイザー小八木元会長 アドバイザー小谷元会長

こんばんは。フォーラムは本来、出席されない方に聞いていただけたい場とも感じています。職業奉仕の活動はそれぞれ皆様違う立場の中でもう実行されています。職業奉仕の正解はなく、逆にすべてが正解なのではないかと思えます。ロータリーの発足した社会情勢ではそのような権利感で活動していましたが、今の安定した時代の中に高い水準の経営者では活動が固定化していき、クラブ全体としても難しくなっていたのではないかと思います。この時代の変化の中でセブンイレブンなど売り上げの一部をSDG sの取り組みとしての経営の考え方を、私たちの中小企業としても考えていかなければならないと思います。今、活動の中に社会奉仕と職業奉仕の垣根も低くなってきているのではないのでしょうか。個人だけの活動だけでなくクラブとしての活動も考えていかなければならないと思います。(小八木元会長)

皆さまこんばんは。職業奉仕の原点は例会に出席することだと先輩から聞かされました。例会に出席することで、職業の勉強場となりそれを会社に持ち帰って仕事に役立ててもらうことを教わりました。私が入会当時は、会員の中で創業から上場まで企業を育てられた方もおられました。その方からは「運がよかった」とも話されていました。そのような謙虚な姿勢が大切なことだと当時感じ、やはりこのような会話を感ずることは例会に出席すること、これが一番大切なことであることだと思います。また今日のアンケート資料は素晴らしい職業奉仕のヒントになる大変貴重な資料と感じました。ぜひ皆さま活発なご意見よろしく願いいたします。(小谷元会長)



## 5、乾杯： 鈴木元会長

皆様こんばんは。先輩方の素晴らしいお言葉の後に大変恐縮です。今年度も僅かになり、今日は次年度の委員会もございました。来年度は節目の70周年となります。今日が皆様のすばらしい時間になりますよう乾杯。



## 6、テーブルマスター報告（発表順の通り）

### Bテーブル：濱口職業奉仕委員長

奉仕はサービスの訳ですが、その訳は日本では無理があるのではないかと。長く続く奉仕事業は職業奉仕であるのではないかと。新ビジネスにつなげる案は皆様やり遂げているのではないかと。クラウドファンディングが現在時代の中にありますがこのような取り組みをロータリーでも考えていき次の時代につなげてみてはと考えております。



### Cテーブル： 鮫島職業奉仕委員

#### テーマ①

- ・天職を授かったとの思いで職業に打ち込む、職業に打ち込むことで天職に近づけることができる。

#### テーマ②

- ・ロータリークラブは、一国一城の主である且那衆の集まりであると、ある意味で言えるものがあり、その力を奉仕活動にむけて結集することが重要。その奉仕活動に、大手企業出身のロータリアンは、人間力で貢献する。
- ・職業活動には競争が必須だが、ロータリアンの職業活動には高潔性が求められる。常に四つのテストを念頭に職業活動を展開することで、職業奉仕を実践する。
- ・長年ロータリー活動に取り組んでいる方に、入会当時に比べて、高貴な人間性が現れた顔つきに変わってきたメンバーがいらっしゃる。

#### テーマ③

- ・旧来の職業分類を取っ払って、変革していく新たな分類イメージで、発想することが必要。
- ・各家庭に対する各種エネルギー・通信手段等のアクセスインフラを、1本の導入路のみで完結できるように一つに纏め上げる新ビジネスを実現したい。





#### D テーブル 小椋国内社会奉仕委員

職業奉仕とは、過剰サービスや安価な仕事をするのではない。そんな事をすれば、社会への還元や仕入れ先の過正利潤を妨げるばかりでなく業界全体に迷惑をかけることになる。適正な利益追求が必要である。そうすることによって社員への利益還元、仕入先へ適正水準の支払い、納税が可能となりそれが事業の発展ひいては社会への奉仕につながる。

利益は二兎や社会に貢献する仕事であれば、自ずとついてくるものだと考える。

三方よしの政審が肝要であり、高い倫理観をもって仕事をするべきである。ちなみに最近は作りてよし、未来よし、働き手よし等を付け加えて五方よしとも言うようである。



#### E テーブル 能川会員友好委員

毎日毎日まじめに一生懸命働いて、その果実を奉仕に向けていくこれ以外はありません。お客様に感動や感激を与えることが奉仕である。SDGsについてはバッチをつけて環

境に配慮した企業理念が必要かと思います。

最後に職業奉仕とはロータリアンになること自体が職業奉仕であると言う事、例会の出席が大切である事だということでした。



#### F テーブル 伊倉ロータリー財団副委員長

- ①今、就いている仕事の目的（会社の企業理念など）が社会の発展や人々の生活に役立つことであれば、その仕事（サービスや商品の提供）を精一杯行い、世の中に広げることが奉仕につながるのではないか。
- ②これは、終わりのない活動であるから、武道や華道、茶道のように永遠に追及することになる。日本人としては、「ロータリアン道」と表現すると腑に落ちるのではないか。
- ③ロータリーにはいろいろな職業の会員がいて、日々、職業奉仕を実践しているのであるから、例会やフォーラムに出席し、そこで学んだことを会社で実践し、広げることが重要である。また、一つの企業でできることには限界があるので、ロータリーを通じて人脈を拡大し、奉仕の精神でできることを増やして行くのがよいだろう。



Gテーブル 飯井会員増強委員

テーマ①

- ・社業の中で社会に対して貢献をしていく
- ・家業とは社会的ニーズがあるから成立している。ニーズを満たすことが奉仕であると思う。
- ・適正な利益を出し、より多く納税することが職業奉仕であり社会奉仕であると思う。
- ・ロータリーが生まれて100年、大阪南ロータリークラブが生まれて70年、諸企業奉仕の在り方、考え方も変化しているはず。自分の職業、仕事が世の中の役に立っているという思いをもって日々行動することが職業奉仕の原点であると思う。

テーマ②

- ・商品の配送時に一人暮らしの高齢者の生存確認をしており、問題があればすぐに対応できるような体制を作っている。商品販売の先にあるニーズを見据えて、社員、従業員とともに取り組めるように考えている。
- ・これからの社会を作っていくのは子供たちである。子供たちの成長をサポートし役立つ新商品の開発をしている。次世代の成長をサポートできるという事はありがたいと思う。
- ・ワンマン経営からの体制変更をしている。新しい人事制度を導入し、社員をはじめ多

くの皆さんから事業に対して意見をもらえるようにしている。その中から新ビジネスの端を見つけることができる。

- ・日々の営業において、4つのテストにかなっているか確認している。簡単であり、行動指針としては最適である。

テーマ③

- ・海外の貧しい地域で、新しい取り組みを始める。現地で新商品の開発、流通の確保を行い、「生きる力」の創造をサポートするような事業に成長させたい。
- ・フランスのダノン社が始めたグラミン銀行のような事業をしてみたい。
- ・仕事を与えるのではなく、仕事を作っていくための情報や技術を提供してみたい。魚を与えるのではなく、釣りの仕方を教えるようなもの。
- ・自分の仕事、業界の中だけでは見えてこないアイデア、ヒント、ビジネスにつながる発想、システムなどは、例会に参加し、多くの会員の皆さんとお話をし、交流を深める中で見つけることができる。例会への参加は実は重要な職業奉仕につながる。



Hテーブル 大石会員友好委員

- ・木材業の横尾さんからは、伐採により減少する森林を回復する意味もあり、耕作放棄地に植林活動をしている。



- ・ 職業・事業にはメリット、デメリットがある。デメリットを以下に減らすかが重要である。
- ・ 生きていること自体が環境破壊ともとらえられるので、倫理観とは何かを考えて行動する事が重要である。
- ・ 職業自体、仕事自体が奉仕である。
- ・ コロナ禍の中で、様々な職種のメンバーがそれぞれに苦勞をし、対応をされているのに共感するとともに、企業を持続して行く事が職業奉仕であると感じた。



I テーブル 新居 RAC 委員

愛を語る I テーブルでございます。社会へ貢献できる事を伝えていく事が職業奉仕ではないか。新ビジョンについては、三方良しの関西に根付いている理念を考えれば、職業奉仕自体に取り込めるのではないかと思います。



J テーブル 由谷国内社会奉仕委員

皆さんがどのように自分の職業をもって社会に奉仕していると思うかなどに対して意見をいただきました。

自分の職業をもって社会に対してダイレクトに奉仕していると感じられることはあまりないが、しっかりと働いて税金を納めることで職業をもって社会に奉仕していると考えているという意見が多かったです。

また、職場で直接クライアントとお話をして、顧客の困っていることやニーズを聞き出して自社で出来ることに対して誠意をもってお話をし、ご納得いただいで対応し、ご満足いただくことで職業奉仕の喜びを感じるという意見もありました。日々の仕事を通して自分の職場の従業員や取引先相手並びに関係者に対して誠意をもって接することで喜んでもらって、ひいては地域社会に対して貢献できることが職業奉仕ではないかという意見もありました。

ちなみに私自身は薬剤師として週に 1 回は現場に出て、患者さんたちと直接かかわり、お話をする中で体調の変化や困りごとなどを聞き出し、副作用はないか、そのように困っているなら別のお薬もあるので追加や変更を病院の先生にお願いしてみましようか？などと言った感じで職業的能力を生かして目の前の方に最善のアドバイスが出来るように心がけております。またそのような接客指針を示して従業員にも指導してまいりました。

従業員をしっかりと指導して育てていくことで顧客の皆さまに喜んでもらい、きっちりと利益を上げることで多くの税金を払い、納税することによって職業奉仕をしている。また結果を出した従業員はきっちりと評価することで労働意欲を沸かせて更なる高い結果を出すように導き、給料を引き上げてあげることで従業員が納める税金も増えるので職業奉仕につながると考えているという意見もあり

ました。個人的にはこの方はよほど税金を納めることが好きなのか、またはそんなにも税務署に対しておびえているのか何か悪い思い出があるのか・・・と考えてしまいました。



#### K テーブル 江頭会員友好委員

##### テーマ①

- ・高い倫理的基準を持つ。(さすが、ロータリアンと言われる事)
- ・例会に出席して学んだことを、社会や家庭で実践していくこと。
- ・SDGs
- ・自分の仕事がいかに社会に必要とされているか、その仕事でどれだけ社会を豊かにしていくかが大切である。

##### テーマ②

- ・お客様の商売や生活をできるだけ長くさせる。長く続かせるには、win-win の関係でなければいけない。
- ・どちらかが損をする、我慢するようでは長く続かない。(好きな人と好きなことをし、得意で人の役に立つことをする事で、長く続けていける)
- ・健康・友達・家族・正義を犠牲にしていると、長続きはしない。
- ・利益を出して、税金を納める。
- ・自分が考えた事を、社内で明文化して浸透させていき、会社として出来るようになれ

ば、もっと広げていく。

- ・利益を出して、まずは、自社の社員が豊かになる事によって、社会に還元していく仕組みを作るように心がけている。
- ・相手が必要としている人と人を引き合わせる。
- ・社是が4つのテストに通ずるものがあり、それを実践している。

##### 【4つのテスト】

- 1、真実かどうか。
- 2、みんなに公平か。
- 3、好意と友情を深めるか。
- 4、みんなのためになるかどうか。

##### テーマ③

- ・教育ビジネス(山岡さんが、日曜日に考えたビジネス)日本の教育は、昔から変わっていない。現状、何かあるとインターネットで調べて答えていく世の中になっている。今までの日本の教育ではなく、SNS を活用し、テストを受けていく学校教育に変えていく。
- ・小学校中学校高校のテストでは、スマホで Google 検索やその他 SNS を使って回答するような世の中なのに、今の教育はそれで戦わさない。IT に弱い人間しか育たない。小学生の時からそれで戦う癖がついていたら、ワンランク上の人間になれる。そんな教育理念の学校を作りたいと思っている。
- ・日本人は、0~1 は不得意だが、組み合わせで新しい事を創る事は得意である。





#### Lテーブル 岩崎青少年奉仕委員

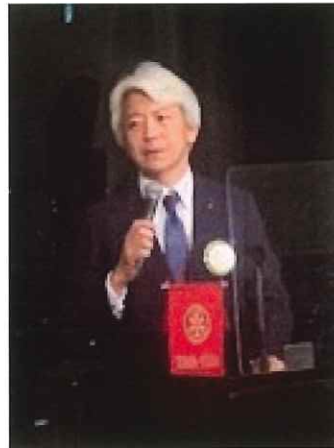
ロータリアンの職業奉仕とは、職業を通じて社会奉仕を行うことである。それは個別の職業毎に異なり、各々で考えるべきところではあるが、さしあたって重視されるのは納税である。納税によって社会に貢献することが職業を通じて社会奉仕することにつながるといえる。

職業奉仕の根幹にあるのは、ロータリーの樹で示されるような「ロータリー財団」「社会奉仕」「国際奉仕」「次世代奉仕」である。当ロータリーでもその一貫として出前授業を行っており、一定の成果を上げているが、欲をいえば、決まった場所ではなく、もっと一般的、普遍的に異なる場所で行うことが望ましいのではないか。また、世代としても中高生を対象を広げていくべきではないか。

#### 7、ゼネラルリーダー講評： 福本理事 (職業奉仕)

皆様大変お疲れさまでした。小八木元会長・小谷元会長からすばらしいご意見もいただきました。ロータリーに入ったときには先輩からしっかり仕事をしてしっかり儲けるべきだと言われました。職業奉仕はロータリーの金看板であり、人はどんな組織でも志をたててそして仲間を集って、製品・サービスを作り、その対価で給料や仕入れ先にしっかり支

払い、納税し、そして残ったお金で次へのより良いサービスに再投資をしていく、職業とは高度なアートであり芸術作品であると言われました。その推進力となるのが世の中の役に立ちたいと言う道德観でありそれを学ぶのがロータリーであると言われたことを思い出しました。皆様に貴重なご意見もいただきました。ありがとうございました。



#### 8、閉会挨拶：熊田副会長

今日はたくさんのご意見を出しあえてよかったかと思います。倫理観と道德心をもって職業することを学べるロータリーはすばらしいと思えました。皆様長時間お疲れさまでした。

(文責： 副幹事 栗原 大)

## 6月定例理事会

### 協議事項

2. 新入会員のフォロー体制について

### 審議事項

7. 新入会員候補者の件
8. 退会届の件
9. 休止会員の件
10. 臨時総会開催の件
11. 衛星クラブ次年度役員人事について
12. My Rotary 登録更新の件

### 報告連絡事項

10. 地区補助金事業完了報告
11. 職業奉仕アンケート冊子の件
12. ニコニコ会計報告
13. 本年度入会者数・退会者数報告の件
14. ロータリー財団・米山特別寄付の件
15. ロータリー賞について
16. 天野年度理事会打ち上げ懇親会の件
17. 事務局員について
18. その他

## 第6回次年度理事会

### 協議事項

1. 7月から例会開催について
2. テーブルマスター会議・ニコニコ協力推進の件
3. 第1回クラブフォーラム（クラブ管理・運営部門）開催の件
4. 摂食例会の件

### 審議事項

1. 名誉会員の件
2. メークアップについて
3. 2022-23年度会計予算案の件
4. ロータリー財団・米山奨学金寄付のお願いの件
5. グローバル補助金カンボジア事業の件
6. 休止会員の件

### 報告連絡事項

1. 卓話について
2. 例会休会日の件
3. ロータリー賞について
4. 大阪南なみはやロータリー衛星クラブ事業について
5. 新年度役員・理事・委員長合同懇親会
6. 第1回クラブアセンブリー開催の件
7. 大阪南ローターアクトクラブ第1例会開催の件
8. 宮里ガバナーと役員・理事との懇談会
9. 移動例会の件
10. その他



## ニコニコ箱へ

- 天野 直樹 会員から ・南北ゴルフ懇親会、団体で南軍の勝利です。優勝カップが久しぶりに南に返りました。小林二郎委員長ご苦労様でした。  
・一年間大変お世話になりました。
- 下條 泰利 会員から ・天野会長、伊藤幹事をはじめ、理事役員、各委員長の皆様、1年間ありがとうございました。
- 後藤 謙治 会員から ・SAA のデコボコトリオ、1年間大変お世話になりました。数々のミス、不具合、うっかり、お許し下さい。上手い事ごまかそうと装ってましたが、大概ばれてましたね (汗)
- 原田 稔 会員から ・天野丸の素晴らしい航海に感謝して。
- 長谷川 孝 会員から ・先週所用で例会を欠席しましたがお誕生日の御祝いをお送り頂きありがとうございました。先輩を見習っている内に 83 才になりました。皆習われるような年寄りを目指し頑張っていきます。
- 入江 義雄 会員から ・天野会長のお話、記憶に残り勉強になりました。新澤村会長のご活躍お祈り申し上げます。最後にひとつ、グロス 39 の内容をご披露下さい。
- 伊藤 勝彦 会員から ・会員の皆様のおかげで何とか幹事の任期をまっとうする事が出来ました。勉強させていただきました。ありがとうございました。  
・草島先生、音楽会楽しかったです。ありがとうございました。
- 川口久美雄 会員から ・事情により今月で退会いたします。10 年以上にわたり天野会長はじめ皆様には大変お世話になりました。。ありがとうございました。
- 川谷 周平 会員から ・天野会長 1 年間ありがとうございました。
- 小林 二郎 会員から ・南北懇親ゴルフ会南が久し振りに優勝しました!!ご参加頂いた皆様有難うございました。
- 栗原 大 会員から ・天野年度お疲れ様でした。次年度宜しく願い致します。
- 草島 葉子 会員から ・おかげ様でウクライナから学生を迎えました。チャリティーの意味もあり、自衛隊中部方面音楽隊のコンサートを 6/25 (土) 本校アリーナで開催いたします。よろしければ、チケットを入口に置いておりますのでよろしくお願い致します。楽しみにお待ちしております。  
・お陰様で先日の演奏会無事終了いたしました。天野会長、伊藤幹事ご出席ありがとうございました。本日入会の浅羽さん、よろしくお願い申し上げます。
- 桑原 健郎 会員から ・ハンディーに恵まれて南北交流ゴルフコンペ優勝させて頂きました。
- 中島 成和 会員から ・思いついた事は何でも口にしてしまい天野会長、理事会の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。副会長の重責は大変貴重な経験となりました。皆様ありがとうございました。
- 澤村 剛士 会員から ・天野会長お疲れさまでした。毎回、会長のお話を楽しく聞かせていただきました。次年度は、天野会長のような含蓄のある話は出来ませんので、食事の時間をゆつたりと取りたいと思います。
- 篠原 準治 会員から ・天野会長本当にお世話になりました。
- 武田 太郎 会員から ・天野会長ご苦労さん!!
- 谷口 玲子 会員から ・久しぶりの例会、どうぞよろしくお願い申し上げます。

山本 博史 会員から ・ホームクラブ連続欠席のお詫び。

理事会一同 ・1年間ありがとうございました。澤村丸にバトンタッチします。

本年度目標額 530万 6月28日現在 累計 円